

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 12 月 12 日 (2019.12.12)

【公開番号】特開 2019-107307 (P2019-107307A)

【公開日】令和 1 年 7 月 4 日 (2019.7.4)

【年通号数】公開・登録公報 2019-026

【出願番号】特願 2017-243375 (P2017-243375)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/11 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/10 3 1 0 G

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 10 月 30 日 (2019.10.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

検出対象者の動作に応じて逐次変動する動作情報を第 1 の情報として取得する第 1 の取得手段と、

前記検出対象者の行動を特徴付ける情報を第 2 の情報として取得する第 2 の取得手段と、

前記第 1 の取得手段によって取得された第 1 の情報及び前記第 2 の取得手段によって取得された第 2 の情報を用いて、前記検出対象者の行動の種類を特定する特定手段と、
を備えることを特徴とする行動検出装置。

【請求項 2】

前記第 2 の取得手段は、前記検出対象者が利用している利用物を識別する情報、又は検出対象者の行動を識別する情報、を前記第 2 の情報として前記利用物に設けられた電子機器より通信手段を介して取得する、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の行動検出装置。

【請求項 3】

前記特定手段は、前記第 1 の取得手段によって取得された第 1 の情報に基づいて前記検出対象者の行動検出が可能であるか否かを判断し、検出可能であれば、前記第 2 の取得手段によって取得された第 2 の情報を用いることなく、前記第 1 の情報を用いて、前記検出対象者の行動の種類を特定し、且つ検出不可能であれば、前記第 2 の取得手段によって取得された第 2 の情報を用いて、前記検出対象者の行動の種類を特定する、

ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の行動検出装置。

【請求項 4】

前記特定手段は、前記第 1 の取得手段によって取得された第 1 の情報に基づいて前記検出対象者の行動検出の適切性を判断し、その適切性に応じて、前記第 1 の取得手段によって取得された第 1 の情報を用いる第 1 の方法、前記第 2 の取得手段によって取得された第 2 の情報を用いる第 2 の方法、前記第 1 の情報及び前記第 2 の情報を用いる第 3 の方法の何れかを選択し、その選択した方法を用いて、前記検出対象者の行動の種類を特定する、
ことを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れかに記載の行動検出装置。

【請求項 5】

前記特定手段は、前記第 1 の取得手段によって取得された第 1 の情報及び前記第 2 の取

得手段によって取得された第 2 の情報を同時に用いて、前記検出対象者の行動の種類を特定する、

ことを特徴とする請求項 1 乃至 4 の何れかに記載の行動検出装置。

【請求項 6】

前記第 1 の取得手段によって取得された第 1 の情報を解析する解析手段を、更に備え、前記解析手段は、前記特定手段によって特定された行動の種類に対応する解析を前記第 1 の情報に対して行う、

ことを特徴とする請求項 1 乃至 5 の何れかに記載の行動検出装置。

【請求項 7】

前記解析手段は、複数種類の行動の個々に対応して予め用意されている複数の行動解析アルゴリズムの中から前記特定手段によって特定された行動の種類に対応する行動解析アルゴリズムを選択して、その選択した行動解析アルゴリズムにしたがって前記第 1 の情報を解析する、

ことを特徴とする請求項 6 に記載の行動検出装置。

【請求項 8】

前記第 2 の取得手段は、前記電子機器より発信されるビーコン信号を受信することにより前記第 2 の情報を取得する、

ことを特徴とする請求項 1 乃至 7 の何れかに記載の行動検出装置。

【請求項 9】

前記第 2 の取得手段は、前記検出対象者の周囲の環境情報を前記第 2 の情報として取得する、

ことを特徴とする請求項 1 乃至 8 の何れかに記載の行動検出装置。

【請求項 10】

検出対象者の動作に応じて逐次変動する動作情報を第 1 の情報として取得する第 1 の取得手段と、

前記動作情報と異なる種別の情報であって前記検出対象者の行動を特徴付ける情報を第 2 の情報として取得する第 2 の取得手段と

前記第 2 の取得手段によって取得された第 2 の情報を用いて、前記検出対象者の行動の種類を特定する特定手段と

前記特定手段によって特定された前記検出対象者の行動の種類に対応する解析を、前記第 1 の取得手段によって取得された前記第 1 の情報に対して行う解析手段と、

を備えることを特徴とする行動検出装置。

【請求項 11】

請求項 10 に記載の行動検出装置に通信接続される電子機器であって、

前記検出対象者の行動を特徴付ける情報を発信する発信手段を、備える、

ことを特徴とする電子機器。

【請求項 12】

検出対象者の行動を検出する行動検出装置と電子機器とが通信接続されてなる行動検出システムであって、

前記電子機器は、

前記検出対象者の行動を特徴付ける情報を発信する発信手段を、備え、

前記行動検出装置は、

前記検出対象者の動作に応じて逐次変動する動作情報を第 1 の情報として取得する第 1 の取得手段と、前記検出対象者の行動を特徴付ける情報を第 2 の情報として取得する第 2 の取得手段と、前記第 1 の取得手段によって取得された第 1 の情報及び前記第 2 の取得手段によって取得された第 2 の情報を用いて、前記検出対象者の行動の種類を特定する特定手段と、を備える、

ことを特徴とする行動検出システム。

【請求項 13】

行動検出装置における行動検出方法であって、

検出対象者の動作に応じて逐次変動する動作情報を第 1 の情報として取得する処理と、
前記検出対象者の行動を特徴付ける情報を第 2 の情報として取得する処理と、
前記第 1 の情報及び前記第 2 の情報を用いて、前記検出対象者の行動の種類を特定する
処理と、
を含むことを特徴とする行動検出方法。

【請求項 14】

行動検出装置のコンピュータに対して、
検出対象者の動作に応じて逐次変動する動作情報を第 1 の情報として取得する機能と、
前記検出対象者の行動を特徴付ける情報を第 2 の情報として取得する機能と、
前記第 1 の情報及び前記第 2 の情報を用いて、前記検出対象者の行動の種類を特定する
機能と、
を実現させるためのプログラム。